エットレ・スコーラ

Ettore Scola

生年月日 1931/05/10
出身地 イタリア／トレヴィーコ
没年 2016/01/19

【バイオグラフィ】
■ローマの大学で法律を学び、ジャーナリストとして『マルコ・アウレリオ』誌に記事を書きつつ、ラジオ台本を手掛ける。４７年から５２年にかけて、喜劇役者のトトが主演する映画のシナリオを、クレジットなしで執筆。５２年より脚本家として映画界に入り、マリオ・マットーリなどの喜劇映画監督と組んでシナリオを書きつづけた。６４年の「もしお許し願えれば女について話しましょう」で監督デビューを果たす。ネオレアリズモとイタリア喜劇の流れに、社会性を盛り込む作風が特徴。他に「ジェラシー」「特別な一日」「ル・バル」「マカロニ」などがある。

【フィルモグラフィ】

水と砂糖のように（2016）	出演
フェデリコという不思議な存在（2013）	監督
マルチェロ・マストロヤンニ　甘い追憶（2006）	出演
星降る夜のリストランテ（2000）	監督,脚本
ＢＡＲ（バール）に灯ともる頃（1989）	監督,脚本
スプレンドール（1989）	監督,原案,脚本
ラ・ファミリア（1987）	監督,脚本
マカロニ（1985）	監督,脚本
ル・バル（1983）	監督,脚本
パッション・ダモーレ（1980）	監督,脚本
特別な一日（1977）	監督,脚本
醜い奴、汚い奴、悪い奴（1976）	監督
あんなに愛しあったのに（1974）	監督,原作,脚本
ジェラシー（1970）	監督,脚本
空爆大作戦（1969）	脚本
セックス・パニック／愛欲のイタリア女族物語（1967）	脚本
おとぼけ紳士録（1965）	脚本
私は彼女をよく知っていた（1965）	脚本
気ままな情事（1964）	脚本
もしお許し願えれば女について話しましょう（1964）	監督,脚本
追い越し野郎（1963）	脚本
三月生れ（1958）	脚本

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.